

令和元年度 第2回
奈良市社会教育委員会議
会議録

令和2年 1月 27日会議

令和元年度第2回奈良市社会教育委員会議 会議録			
開催日時	令和2年 1月27日（月）午後1時00分から午後2時30分まで		
開催場所	はぐくみセンター 9階 会議室		
出席者	委員	井上委員、上田委員、岡田 _和 委員、岡田 _龍 委員、奥田委員、加藤委員、川田委員、川野委員、小北委員、艸香委員、竹内委員、中村委員、村上委員、八木委員、 【計14人出席】（坂田委員、廣崎委員は欠席）	
	事務局	教育部次長、地域教育課課長、地域教育課課長補佐、生涯学習財団事務局長	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	教育部 地域教育課
議題 又は案 件	1. 各大会等の参加報告について ① 交流の集い ② 令和元年度人権教育シンポジウム ③ 第61回全国社会教育研究大会兼近畿大会（兵庫大会） ④ 第31回奈良県社会教育研究大会 2. 奈良市社会教育推進計画に基づく事業の評価・点検に関する活動報告 3. 令和元年度奈良県社会教育学校について 4. その他		
決定又は 取り纏め事 項	1. 各大会の参加者より参加報告を受けた。 2. 奈良市社会教育推進計画に基づく事業の評価・点検に関する活動について報告を受けて下記を決定した。 ・平成30年度事業に係る事業評価シートに対する社会教育委員意見のまとめ（担当課へのフィードバック内容）		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1. 各大会等の参加報告について

- ・各参加者から、各大会について参加報告書を基に説明（資料1～4）。

【委員からの意見・質問等】

- ・大会に複数名での参加をした際、参加委員と情報共有することで、インプットとアウトプットができた実感できたため、今後も大会等には複数で参加できるように予算について配慮いただきたい。
- ・大会に参加して他地域の状況を知ること、奈良市の取組についても見えてくることが多いため、今後もこのような機会があれば皆さんにも是非参加していただきたい。
- ・公民館大会に参加したことで、全国のそれぞれの地域での公民館の役割を知ることができた。また、奈良市での公民館活動が活発にされているという認識ができた。
- ・大会等では学びも多く、いい機会であるが、そこで得た情報等を発信していく場を見つけることが今後の課題である。

2. 奈良市社会教育推進計画に基づく事業の評価・点検に関する活動報告

（第1回目：令和元年10月10日）

- 平成30年度事業評価シートの【社会教育委員からの意見】をどのようにまとめていくかを検討した。
 - ①各社会教育委員からいただいた意見は、専門性や各立場からいただいた貴重な意見であり、ひとつにまとめることは難しい。そのため、昨年度は箇条書きであったが、今年度は【評価ポイント】【期待・提案】【質問】に分類わけをして整理することとした。（【資料5】奈良市社会教育推進計画に基づく事業報告について）
 - ②平成30年度事業評価がC・Dであった事業に焦点を当て、どこに課題があるのかを把握して社会教育委員会議から何か提案やアドバイスができないかを検討する。（C：できなかった、D：全くできなかった）

（参考）平成30年度事業評価の中で、C・Dの評価になったもの

【まなぶ】多様な学習機会の提供「青少年野外体験施設の運営管理事業」

【ささえる】地域住民が気軽に立ち寄れる居場所づくり、交流の場づくり

「図書館運営事業」

→2回目のグループ活動では、上記の二事業について、各施設の所管課の意見や、指定管理者の現状や展望について聞き取りをし、一緒に課題を共有した上で改善策を考えていくという姿勢で議論を進めていきたい。

(第2回目：令和元年11月19日)

- ▶ 現場の様子を知るため、活動場所を図書館とし、中央・西部・北部3館の図書館長も同席され、西部図書館の見学も実施した。

《課題等の聞き取り結果について》

■図書館運営事業

「地域住民が気軽に立ち寄れる居場所づくり、交流の場づくり」という施策に対し、多様化する情報・変化する住民ニーズに対応すること、と子どもから大人まで幅広い世代間や地域間の交流について、「C：できなかった」という評価であった。

◇ 現場では意見箱を設置し、すぐに対応しているものや予算の範囲内で改善しているという話や、学校の授業で使用する本を届けたり企業とイベントをしたりと工夫した取り組みが行われていた。

◇ 来館者を増やすために市民に対しての宣伝やCM活動についても、Youtubeを作成などしているが、登録者数や視聴者数を増やすところに苦勞しているという話があった。

春に小中高をまわって図書館の使い方ガイダンスを行ったり、図書館を紹介するポスターを作成して掲示板に貼り出しをしたり、文化祭に紹介に出向く等の広報手法を提案した。

◇ 取組にあたって難しい部分は、「人材不足」ということであったが、地域の方々のニーズを取り入れながら住民の人と一緒に作りあげていくことが、居場所づくりや交流の場づくりになると思う。そういった観点から、同じ社会教育施設として、公民館での取組やノウハウの蓄積があると思われるため、施設間で交流し情報共有を行うことで良いところを生かしたり、問題点を学んだりお互いに還元されたりできることがあるのではないかと思う。

■青少年野外体験施設

所管課意見とともに指定管理者の意見も徴収し双方の考えや現状を確認した。

青少年野外体験施設には「黒髪山キャンプフィールド」と「青少年野外活動センター」があり、それぞれ別の指定管理者が管理運営を行っている。

◇ 黒髪山キャンプフィールドについては、指定管理者において、施設の設置目的である「自然環境の中での野外活動、レクリエーション等を通じて青少年の心身の健全な育成を図るため」ということを理解していただいた上で、利用者を増やすための改善が必要であると思われる場合は、その意見をまとめていただきたい。

→グループ活動後に現地視察と指定管理者への聞き取りを実施した(※)。

◇ 青少年野外活動センターについては、指定管理者からの意見の中で、フィールドアスレチックの整備についての記載があったが、今までの事故やケガの報告からリスクをきちんと把握し、維持管理面を考慮しながら、どの部分を整備したいのかということ、整理してほしい。

→グループ活動後に現地視察と指定管理者への聞き取りを実施した（※）。

◇ 両施設とも、それぞれの指定管理者の要望や意見を受けたうえで検討し、社会教育として必要性があると判断した場合は、指定管理者の後押しをすることもできると考えている。

《※グループ活動後、実地視察及びヒアリングを実施した結果について》

【黒髪山キャンプフィールド】

◇ 指定管理者としては、「多様な関係機関との連携を図るという点では、ボーイスカウトの各団をはじめ、親子リズム体操、親子ふれあい教室、社会福祉法人ぷろぼのなど、団体の定期利用があるため、様々な団体と連携が行われている。」ということであった。また、「子どもから大人まで幅広い世代間や地域間の交流については、親子の利用や小学生を対象にしたキャンプなどを通して世代間の交流を行っている。地域間の交流についても、地域からいろんな団体がきて利用しているため、ある程度行われている。」ということであった。しかし、所管課が「C：出来なかった」と判断した理由は、キャンプやバーベキュー等で施設を利用する者との交流ではなく、親子イベントや体験研修等“指定管理者が自ら企画した自主的な事業展開”によって、多様な団体が参加をすることで出来る「連携や交流」などを想定しており、施設の利用者との関係性を「成果」と捉えなかったことが理由である。

今回のヒアリングにより所管課の考えと指定管理者の考えに齟齬があることがわかった。また、自主的な事業展開を実施するためには、市として予算を確保すること、指定管理者として人員を確保することが必要であると認識している。

【青少年野外活動センター】

◇ フィールドアスレチックは全部で6台あり、そのうち「ターザンロープ」の1台は故障のため使用できなかった。他の5台については使用が可能であった。ただ、全体的に経年劣化により木材がささくれ立ち、棘が刺さるケガは多数発生している。事故等については、使用方法を守らなかったために発生したものが数件あった。指定管理者としては、子どもたちに人気があった「ターザンロープ」を復活させたいという思いがあることと、日常の遊具の点検は職員が行っているが、専門業者による全遊具の総点検を望んでいるという状況であった。

奈良市としても、子どもたちが安全に遊具を使用できるように、使用時には正しい使い方の指導を徹底するよう指定管理者と協議するとともに、専門業者による総点検を実施したいと考えている。また、来年度の予算要求は既に終えているが、今後は人気のある「ターザンロープ」の復活に向け予算確保に努めていきたいと考えている。

【委員からの意見・質問等】

- ・今回、聞き取りをしていただいていたよかったですと実感した。指定管理者との齟齬があったということが判明したことで、今後話し合っていくきっかけにもなったと思うし、経費と人員確保が必要であるということが市でも認識してもらえたということで、取組が進んでいくことに期待を感じることができた。

3. 令和元年度奈良県社会教育学校について

- ・3月5日に実施される奈良県社会教育学校の開催要項の説明と参加希望者を募った。

→川野委員、井上委員、加藤委員が希望された。最終的に事務局と調整して決定する。

4. その他

- ・平成30年から委員委嘱をした第35期社会教育委員が2月18日をもって任期満了となる。平成29年に策定した、奈良市社会教育推進計画を進めていくために、「事業の評価・点検方法の確立」に焦点を当てて活動をしていただいたことに対して深く御礼を申し上げる。
- ・来年度から、奈良市総合計画の期間とあわせ、社会教育推進計画を改訂する必要がある。今後も引き続きご協力を賜りたい。

資 料	【資料1】 交流の集い 【資料2】 令和元年度人権教育シンポジウム 【資料3】 第61回全国社会教育研究大会兼近畿大会（兵庫大会） 【資料4】 第31回奈良県社会教育研究大会 【資料5】 奈良市社会教育推進計画に基づく事業の評価・点検に関する活動報告 【資料6】 令和元年度奈良県社会教育学校について
-----	---